

## アルミテープのツヤ有りツヤ無しの謎

皆さんはアルミテープという水周りの隙間をふさぐ用途などに使われる銀色のテープをご存じですね。よく見るとこのアルミテープには鏡のような光沢のある”ツヤ有りの面”と、くすんだ”ツヤ無しの面”の2種類があることにお気づきでしたか？

実は、アルミテープは原料にアルミ箔を使用しており、このアルミ箔の裏表が”ツヤ有り”と”ツヤ無し”になっているんです。

今回は、このアルミ箔になぜ”ツヤ有り”と”ツヤ無し”があるのかについて紹介させていただきます。

○アルミテープの”ツヤ有り(左)”と”ツヤ無し(右)”の写真



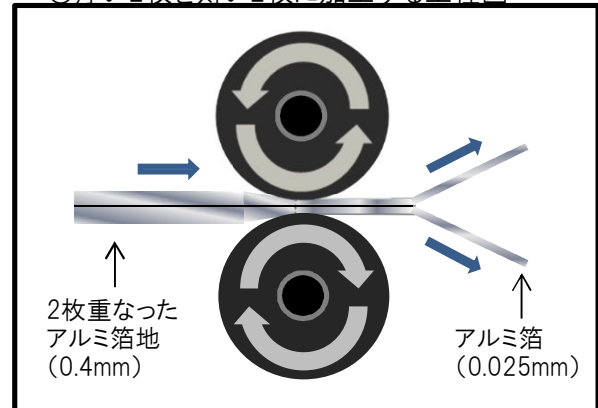
### アルミ箔の製造工程

アルミ箔は元々箔地(はくじ)と呼ばれる0.4mmのアルミ板をローラーに挟んで引き伸ばして製造されます。その際に1枚では十分な薄さに引き伸ばすことが出来なため、2枚を重ねて0.025mmの厚みまで引き伸ばしま

その後、2枚を引きはがすとローラーに接していた面は光沢のある”ツヤ有り”になり、内側のアルミ箔同士が接していた面はざらついた”ツヤ無し”になります。

ちなみに、アルミ箔には裏表という概念はなく、製造工程の都合で”ツヤ有り”と”ツヤ無し”が生じてしまうだけであって機能的に差はありません。

○厚い2枚を薄い2枚に加工する工程図



#### ※3枚以上重ねられない理由

3枚以上のアルミ箔地を重ねて引き伸ばそうとすると真ん中のアルミ箔地が正しく変形せず、欠陥品になりやすい為、実用化には至っておりません。

一般的にアルミテープを使用する際は、ステンレス製のキッチン周りなど光沢のある場所は”ツヤ有り”、空調ダクトの補修など目立たせたくない場所には”ツヤ無し”というような使い分けがありますが、ツヤの有無は機能的に差はないのでお好みでご使用いただけます。

弊社では規格品はもとより別注品も小ロットから作成することもできます。詳しくは、お気軽に営業担当者までお問い合わせください。